

県アジア戦略委10氏

民間から選定 12日に初会合

翁長雄志県知事は9日、県庁で会見を開き、知事選で公約に掲げた県アジア経済戦略構想策定委員会の概要を発表した。新県政で重点政策と位置づけており、観光や物流などの経済分野から民間委員10人を選定。12日に初会合を開き、2016年予算の概要要求が始まる夏までに構想と具体的な事業計画を策定、予算計上を目指す。

会見で翁長知事は「沖縄の地理的優位性とソフトパワーを生かして、アジア経済の成長を取り込みたい」と決意。実務経験豊富な委員の意見を取り入れ、実態に合った経済政策、成長著しいアジア需要の取り組みを狙う。

初会合で委員長を選び、月2回委員会を開催。構想の見直しがあれば委員を改めることも想定する。

委員は地域経済分野から沖縄国際大学教授の富川盛武氏、貿易・海外ネットワーク



県アジア経済戦略構想の概要を発表する翁長雄志知事＝9日、県庁

経済界「スピード重要」

翁長雄志知事が9日、県アジア経済戦略構想を策定する委員会の概要を発表したことを受け、県内経済界からは「構想ではなく戦略を直ちに策定すべきだ」と急速に成長する市場に対応するため、具体的な

な戦略策定を求める意見が挙げられた。

一方、「これまでの政策がアジア経済に合っているか点検も必要」と民間委員の意見を取り入れ、実体経済に合った構想策定に期待する声もあった。

県内の観光事業者は「沖縄21世紀ビジョンがあり、その実行計画もある。構想はすでにある。実効性のある戦略を早く打ち出すべきだ」と強調。成長を続けるアジア経済を取り込むには「スピードが重要」とし、国際競争に乗り遅れない

植松只裕氏、双日ロジスティクス元専務の荻野章次郎氏が就任する。

ほか経済全般として県経営者協会会長の安里昌利氏、製造業分野からものづくりネットワーク沖縄の金城盛順氏、情報産業分野からコンピュータ沖縄代表取締役の名護宏雄氏、国際的人材育成分野からパークレイズ証券顧問や経済同友会幹事などの益戸正樹氏が務める。

構想は成長著しいアジア経済のダイナミズムと連動し、巨大市場の中心に位置する沖縄の地理的優位性を生かし、経済成長を描くことを基本方針としている。

いよう早期の戦略策定を求めた。

翁長知事は2016年度予算の概要要求前の夏までに構想をまとめる方針。「予算要求に活用するのであれば、より具体的な計画が必要になるのではないかと」と構想内容が県予算に反映されるか疑問視した。

「経済人の視点で、これまでの政策が実体経済に合っているのか点検する必要がある」と指摘するのは県商工会連合会の照屋義美会長。「実務を通して生きた経済に接し

ている経済人の意見は参考になるだろう」と民間から委員10人を選定したことを評価した。「仲井真県政の良いところは生かしながら、課題を見極めて事業を策定してほしい」と期待した。

県建設業協会の下地米蔵会長は「空も海も物流環境は整い始めているが、沖縄発の荷物がなく運賃コストが割高になっている現状がある」と指摘。「県産品の輸出増加につなげてほしい」と早期の政策実行を求めた。

県民向け観光 久米島町PR

年度内9万



久米島観光の比嘉護の比嘉護、當間翔子、行社の代表

久米島町観光協会比嘉護会長と久米島細観光レディーの當間翔子さんが9日、沖縄タイムス社を訪れ、日本一早いトライアスロンやマラソン大会、季節の花を楽しむイベ